

市民皆様のために「お役に立ちたい」

自由民主党浜松会長 鳥井 徳孝



皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。重ねて、自由民主党浜松に対しまして、一方ならぬご支援とご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、自由民主党浜松は4年に一度の統一地方選挙を乗り越え、新人議員4人を含めた24人体制の下、前期に続き浜松市議会単独過半数を獲得するとともに、先に行われた5月議会定例会においては自由民主党浜松から戸田誠議長、須藤京子副議長を選出しました。

市政におきましては、自由民主党浜松が一丸となって支援しました中野祐介氏が本市の新たな市長になられ、新市長の「元気なまちにする」・「浜松から地方創生、日本を牽引するまち」の実現に向け、市民皆様のお声・ご意見・ご要望に真摯に耳を傾け、安全・安心暮らし、賑わいのある生活環境、人との繋がりが見える地域社会の構築など、思いを一つにして、日常に豊かさや幸せを実感できる「浜松版地方創生」を進めてまいります。

大きな時代の変化の中、市民皆様の幸せのため、自由民主党浜松は大胆かつ果敢に挑戦し、新しい浜松を創ってまいりますので、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

浜松市議会 Hamamatsu City Assembly

自由民主党浜松通信

政令市
第33号

発行責任者 鳥井 徳孝 編集責任者 齋藤 和志 2023年度前期発行



鈴木裕之(東①) 中野和幸(西①) 小野田康弘(南②) 露木里江子(南②) 神間郁子(北②) 小泉翠(南②) 辻村公子(西①) 藤田典良(中①) 久米文二(北②) 稲葉大輔(西③) 加茂俊武(北③) 須藤京子(中③) 平野岳子(浜北③) 松本康夫(中③) 井田博康(中②) 齋藤和志(北②) 倉田清一(西③) 高林修(東④) 花井和夫(東⑥) 太田康隆(浜北⑥) 中野祐介市長 柳川樹一郎(南⑩) 瀝美 誠(天竜⑥) 鳥井徳孝(中⑤) 戸田誠(北④)

もっと元気な浜松を目指して

浜松市長 中野 祐介



このたび、浜松市長に就任しました中野祐介です。

春の統一地方選挙を終え、浜松市の執行部・市議会とも、新たな体制でスタートを切ることとなりました。議会と執行部は両輪と言われていますが、それぞれの役割をしっかりと果たす中で、浜松をもっと元気にするため、皆様と連携して取り組んでまいります。

浜松は、豊かな自然、分厚い産業基盤、温暖で暮らしやすい気候風土をはじめ、様々な面でどこにも負けない魅力があり大きなポテンシャルを持つ地域ですが、その力が十分に活かしきれていないことから、人口減少、少子化・高齢化が進んでいる状況にあると考えています。

この流れを食い止め、転換し、再び浜松を元気なまちにするため、まず「浜松から地方創生」に取り組みます。そのために「まち」「ひと」「しごと」の創生を一体的・総合的に進めていきます。この「浜松からの地方創生」とともに、いつまでも暮らし続けられる「安全・安心な都市基盤の構築」を併せて進めるとともに、それらを展開するにあたりベースとなる「持続可能な都市・浜松の実現」にも取り組んでまいります。

ポストコロナの新しい時代が始まることとなりますが、このことに限らず、今、時代は大きな転換点を迎えるようとしています。浜松の明るい未来を築くために全力を尽くしてまいりますので、今後とも皆様のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひします。

令和5年度の政策提言を市長に提出

自由民主党浜松は浜松市議会単独過半数を確保し、市議会最大勢力として議会運営をするにあたり、中野祐介新市長に対し「政策提言」及び「政策方針」を次のとおり提出しました。

令和5年度自由民主党浜松「政策提言」概要

本市のあらゆる分野は、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢、地球温暖化などにより、原油価格・物価高騰の深刻な打撃を受け、地域経済の活性化に全力を傾けることが重要である。

さらに、人口減少・少子高齢化の進行により、我が国の2022年の出生数は戦後最低の約79万9千人、本市においても5,163人と年々減少の一途を辿るとともに、人口流出に歯止めを掛け、本市の未来を担う子ども達が健やかに育つ環境整備が喫緊の課題である。

このような社会経済状況の中、市民にとって何が最適か、大局観をもって「誰もが幸せを実現できる創造都市浜松～ウェルビーイングの向上をめざす浜松版地方創生まちづくり～」を早急に推進するよう政策方針について要望する。



(左より) 稲葉大輔幹事長、加茂俊武副会長、中野市長、鳥井徳孝会長、齋藤和志政調会長、露木里江子総務会長、小泉翠事務局長



令和5年度 自由民主党浜松 政策方針

浜松市総合計画第2次推進プラン（基本計画）は、あらゆる事業に「ウェルビーイング」の視点を取り入れ、広く市内外に発信をすることで、市民誰もが浜松版地方創生を実感できるものとする。

また、「ウェルビーイングの向上を目指す浜松版地方創生まちづくり」を積極的に推進するために、次期中期財政計画では、臨時財政対策債は地方交付税代替財源であるという基本認識に基づき、市債残高の対象から外し、最適な財政投資を行うこと。

Well-being(ウェルビーイング)とは、Well(よい)とBeing(状態)が組み合わさった言葉で、「よく在る」「よく居る」状態、心身ともに満たされた状態を表す概念です。

1 子ども・子育て支援と教育環境の整備

- 子育てステージやライフスタイルに合わせ、いつでも安心して預けることのできる柔軟な受け入れ体制を構築するため、処遇改善や運用基準を見直し、子育て支援体制を拡充すること。
- 子ども医療費の無償化、給食費の無償化の議論とあわせ、子どもの貧困やヤングケアラー対応の強化など、妊娠・出産・子育て・教育に関わる経済的な負担の軽減や心理的な不安解消にむけた相談支援体制の強化を図ること。
- 子育て世帯や子どもが抱える発達障害支援や不登校、いじめ対策などの課題を早急に解決するため、公立の幼稚園、保育園、小・中・高等教育の抜本的な見直しを行い、インクルーシブな教育環境を整備すること。

2 生活支援と若者チャレンジ支援

- 物価高騰に対して不安を抱く市民の生活支援、およびコロナ禍により影響を受けた産業、企業の事業支援を継続的に実施し、地域の就労環境の安定を図ること。
- 全ての団塊の世代が75歳となる2025年、さらには高齢者人口がピークを迎えると予想される2042年に向け、生活や医療・介護の福祉の環境整備と支援の充実を図ること。
- 家庭ごみの有料化に関して、費用対効果や派生する課題認識について、市民の理解を深めるとともに、経済状況を勘案して慎重な協議を進めること。
- 地元企業と連携し、デジタル人材の育成や地域特性を活かした高等教育機関の設置とともに、研究機関・IT関連企業の誘致や地元企業への採用強化など、若者の市外流出の歯止めと流入促進を図ること。
- 地域資源を活かした地元産業の生産性向上や高度化を推進し、企業収益力と市民所得の向上による市内GDPの目標達成に向けた産業振興に積極的な投資を行うこと。

3 持続可能で創造性溢れる地域づくり

- 新3区への移行にあわせ、区制度や地域運営に係る諸課題について、支援制度の見直しや地域運営の在り方等の制度設計を早急に行うこと。
- 中心市街地の再生や中山間地域振興策をはじめとする地域独自の活性化事業について、市民と協働し、具体的に地域まちづくりを推進すること。
- 大規模災害対策や交通事故ワースト1脱出に向け、社会インフラや交通環境の整備を行うこと。
- 音楽の都の名に恥じない音楽文化の振興をはじめ、文化・芸術・スポーツの環境整備やコンベンション機能の強化など、地方創生事業の推進を図ること。

浜松市議会議員

小泉みどり

市政報告
vol.6

【自由民主党浜松議員控室】

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 TEL.053-457-2495 FAX. 053-457-2494

ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



所属している自由民主党浜松会派では、今年度の役員
の末端を任せていただくことになり、議会運営や会議規
則、委員会に関する条例等を協議する議会運営委員会
にも出席しております。常任委員会は、総務部や財務
部、危機管理等を所管する総務委員会に所属すること
になりました。また、特別委員会は、子育て政策や総合
戦略などを扱う地方創生特別委員会の副委員長を務め
させていただきました。常任委員会と特別委員会の任期
は二年です。なにぶん初めての副委員長ですので、まず
は同じ会派から委員長に選任された稲葉大輔議員
をサポートし、円滑な委員会運営に少しでも
役立てるよう勉強してまいります。

令和五年六月二日に発生した豪雨により被災した方
々に心よりお見舞い申し上げます。また浜松市におき
ましては、この豪雨に伴う土砂災害により尊い命が失
われました。心よりご冥福をお祈りいたします。市域
が広い本市だからこそ、地域の皆様の思いをきちんと行
政に届け、引き続き防災・減災に取り組んで参ります。
去る五月十六日に開会いたしました令和五年五月定
例会が六月二十六日に無事閉会いたしました。二期目
の初議会ということで、四年前、右も左も分からない中
でとにかく必死に目の前のことに取り組んでいた日々を
懐かしく思い出します。これも、四月に行われました統
一地方選挙におきまして私を再び浜松市議会に送り出
していただいた皆様のおかげと、心より感謝申し上げ
ます。

ご挨拶

会派役員になりました 任期は5月から1年間となります。

- 会長 : 鳥井 徳孝
- 副会長 : 加茂 俊武
- 幹事長 : 稲葉 大輔
- 政調会長 : 齋藤 和志
- 副政調会長 : 露木 里江子
- 会計 : 小泉 翠



鳥井 徳孝



加茂 俊武



稲葉 大輔



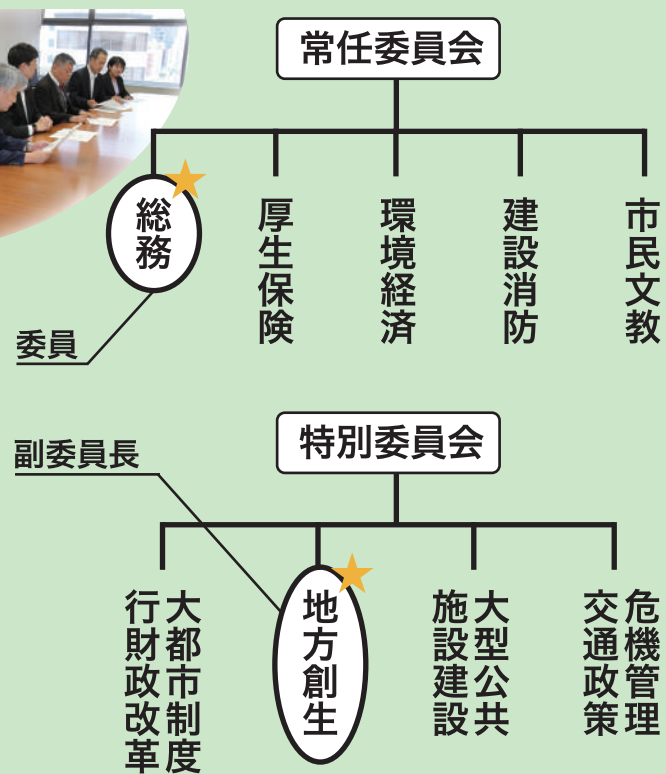
齋藤 和志



露木 里江子



小泉 翠



5月議会 鳥井議員の代表質問に対する答弁の要旨



※ 改選後の初議会は各会派の代表者による代表質問のみが行われます

●家庭ごみ有料化について

Q これまでは昨年11月定例会において、今年9月議会を目途に判断を仰ぐとの答弁があったが、現時点での家庭ごみ有料化制度に関する新市長の考えを伺う。

回答 ごみの有料化は、ごみ減量の有効な施策の一つです。(中略)しかしながら、実施にあたっては、3年余に及ぶコロナ禍や物価の高騰の影響など、社会経済情勢を踏まえ、市民生活に十分に配慮する必要があります。(中略)議会の判断を仰ぐ次期及び実施時期については**本年中を目途にお示ししたい**と考えております。

●子ども・子育て支援について

Q 市長が公約に掲げた6歳児までの子ども医療費無償化や、妊娠・出産・子育てに関する施策について伺う。

回答 6歳児までの通院無償化を関係機関と協議の上、**早期に実現してまいります**。妊娠期から子育て期にわたる支援は、少子化の流れに歯止めをかけ、転換していくための重要な施策と考えております。今後におきましても、ライフスタイルに応じた切れ目のない支援を充実させることにより、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整えてまいります。

Q 放課後児童会の待機児童ゼロ達成の取り組みについて、市長の考えを伺う。

回答 待機児童を解消するためには、行政、地域、学校、企業が連携し、子育て世代が安心して働くことができる環境を作ることが重要です。今後は、(中略)民間事業者による新たな放課後児童会や夏休みにおける事業所内での預かりの促進など、**民間活力の導入も視野に入れ**、待機児童の解消に向けた様々な取り組みを検討してまいります。

●スポーツ振興について

Q スポーツ振興に関する市長の考えを伺う。

回答 複合的な官民連携の実現を可能とするプラットフォームの構築や、施設のあり方を含めたスポーツ政策の次期ビジョンの策定を進めるとともに、**スポーツ担当部長を新たに配置**し、スポーツに特化した組織体制を強化します。

・詳細は、浜松市HPでご確認いただけます <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gikai/>

～5月議会の様子～



令和5年度一般質問9月29日(金)15:30頃から

前の質問者の進行状況により、若干前後いたします。皆様の傍聴をお待ちしております。



Facebook
Instagram
開設しております!

HPをリニューアルいたしました

